

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2023年
冬号
vol.35

INDEX

- ◆ 国交省 社会復帰促進事業の受託
- ◆ 自立支援部見学会・説明会報告
- ◆ りはみんサロン報告(2022年8~10月)
- ◆ 名古屋市障害者スポーツセンター事業報告
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



国土交通省

社会復帰促進事業を受託しました

2022年8月に、国土交通省のモデル事業である「社会復帰促進事業(自動車事故被害者支援体制等整備事業)」への応募が採択され、事業を開始することとなりました。

この事業は、自動車事故被害者の支援体制を構築するために、国土交通省が今年度新たに創設したモデル

事業です(単年度、最長6年間)。

この事業では、主に自動車事故での頭部外傷などによる高次脳機能障害のある方を対象に、その発見から自立訓練の提供、地域生活移行・定着まで切れ目のない支援の実現に向けて「ネットワーク構築支援」「自立訓練提供支援」「地域連携支援」を実施します。

各支援の内容

1

ネットワーク
構築支援

退院後に適切な支援につなげるために、病院に訪問し、会議への参加や研修会の開催などを通して、病院・事業所の連携を強化します。



2

自立訓練
提供支援

専門的知識を有する職員による自立訓練の提供や研修会の開催などを行います。



3

地域連携
支援

地域の事業所などに訪問し、会議への参加や研修会の開催などを通して、円滑な地域生活への移行と定着を支援します。



事業団では、自立支援部門(障害者支援施設)とごや高次脳機能障害支援センターの職員が中心となり、高次脳機能障害のある方が病院・事業所から地域

への生活をスムーズに移行できるよう新たな取り組みや現在の取り組みの強化を行っていきます。



自立支援部見学会・ 説明会報告



自立支援部(生活支援部門、視覚支援部門、就労支援部門)では毎年、広報活動の一環として、医療・福祉関係者の方を対象に見学会と説明会を開催しています。見学会では施設の説明と見学を行い、説明会では見学会の内容に加えて事例紹介を行っています。

2022年度は、見学会を4回、説明会を1回開催予定です。新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮して、実施回数の半分はZoomを使用したオンライン開催となっていますが、2022年9月13日の見学会と10月12日の説明会については、計画通りセンター内で開催することができました。どちらの日も定員いっぱい申し込みをいただきました。

見学は、どの部門も現地を見ていただきたかったのですが、施設入所者さんの感染リスクを考慮した結果、生活支援部門のみ、研修室にいる参加者の方に、Zoomで施設内を撮影しながら説明を行いました。

終了後アンケートでは「支援の流れが分かった」「具

体的な内容まで知ることができた」「いろいろな職種に合わせた訓練ができて良い環境だと思った」などの嬉しいご意見をいただくことができました。中には「実際に見学して理解が深まった」「説明はZoomでも良いが、見学は現地が良い」といったご意見もありました。オンライン形式が増えている状況ではありますが、現地開催ならではのメリットを改めて実感するとともに、オンライン、現地、どちらの形でも参加者の方に満足してもらえるような内容で実施していく必要があると感じました。今後も、同じことの繰り返しではなく、良かった点や反省点を振り返り、それを活かしながら取り組んでいきたいと思えます。

見学会や説明会の他に、実践報告会も年2回開催しています。実践報告会は事例紹介と意見交換がメインです。これらの活動を通じ、他機関の方に自立支援部を知ってもらい、今後さらに連携を深めていきたいと考えています。



りはみんなサロン報告

GOOD

事業団が社会貢献活動として開催する「りはみんなサロン」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催を見合わせていましたが、2022年8月から再開することになりました。

今後も参加人数の制限をかけるなどコロナ対策を行いながら、地域の皆さんが集まり、ほっと、楽しく過ごせる居場所となるよう続けていきたいと考えています。



September
9月

新聞ちぎり絵で葉書作り ～身近な人にお便り送ってみませんか～

2022年9月6日(火)、心配していた台風はそれ、りはみんなサロン再開第2弾を行いました。

今回はなごや福祉用具プラザの職員が中心となって「新聞ちぎり絵で葉書作り」を開催しました。

「新聞ちぎり絵」は、新聞のカラー紙面を指でちぎって貼り付けて絵を描くものです。新聞紙は横にはまっすぐ裂けないので、ちぎったところに和紙のような風合いが出て、味のある作品を作ることができるのが魅力です。

「この枝はどんな色がいいかしら」「模様が入ってる方が面白いわね」「なかなかちぎれないー」と、皆さん熱心に取り組まれていました。見本を見ながらの作成でしたが、選ぶ色や柄はそれぞれ違い、個

NICE



性ある素敵な作品ができあがりました。

できあがったちぎり絵を鑑賞し一足先に芸術の秋を楽しんだ後は、便利な福祉用具を紹介しました。立ったまま、靴がスポッと脱げる便利グッズの実演では「おおーっ!」と、どよめきが。暮らしやすさにつながる道具をきっかけに、地域の皆さんにとって、なごや福祉用具プラザがより身近な存在になっていくと良いな、と感じた瞬間でした。



百会(ひゃくえ)

頭頂部の近くにあるツボ
全身の気を補い、ストレスや
イライラした気分を解消します。

労宮(ろうきゅう)

軽く手を握った際に中指の
先端が当たる付近にあるツボ
神経の高ぶりを抑えて
自律神経を整え緊張を緩めます。

August
8月

ガラススタイルコースターを作ろう!

2022年8月2日(火)に約1年半ぶりとなる「りはみんサロン」を開催しました。

今回は「ガラススタイルコースターを作ろう!」と題し、地域活動支援センターつきみがおかの職員が中心となって開催しました。

新型コロナウイルス感染症感染対策として新たに参加人数の制限、茶話会の中止など、これまでとは少し違う形での開催形式となりました。また、参加者の皆さんにもマスク着用、水分補給時の会話禁止や参加記録の記載などのご協力をいただきました。

今回は夏休み期間ということもあり、りはみんサロンでは珍しく(?)お子さんにも多くご参加いただくことができました。和気あいあいとした雰囲気の中、皆さん思い思いにタイルを並べ、個性豊かな作品ができあがりました。

October
10月

市民公開講座「睡眠について」

2022年10月4日(火)、りはみんサロン市民公開講座を行いました。5名の参加者の皆さんと「睡眠について」学びました。まず「睡眠の質を高めるチェックシート(17項目)」で日常生活の振り返りをしたあと、睡眠の質を高める生活習慣を講義で紹介しました。

睡眠の質を高めるには、毎日同じ時間に起床し朝食を摂り、朝日を浴びることが効果的だそうです(朝日を浴びることで体内時計のズレを解消できる)。講義のあとは皆さんと一緒に睡眠の質を高めるツボ押し体験を行いました。

参加者の皆さんからの質問では「夜の睡眠時間より昼寝が長いが大丈夫か」「寝る前に本を読んでもよいか」という睡眠に関するものから「マスクをしないで歩いている人が増えて心配だ」という日常の心配事までありました。和気あいあいとした中で、コロナ禍での漠然としたモヤモヤ感が解消できたと笑顔でお話しされた方もおり、サロンの良さをあらためて感じました。



名古屋市障害者スポーツ



デイキャンプも 行いました



2022年10月2日(日)、春日井市少年自然の家でアウトドア事業「デイキャンプ」を行いました。デイキャンプは新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりました。

当日は、秋晴れで気温30度超え! 夏に戻ったかと錯覚するようなお天気でした。

9時半、福祉バスに参加者14名と愛知淑徳大学の学生ボランティア5名を乗せてセンターを出発。10時過ぎに到着後はトリム(フィールドアスレチック)へ。滑り台や、ターザンロープなど18基あるトリムを1時間半かけて体験しました。



お昼は野外炊事場で各自持参したお弁当を食べました。デザートには炭で焼く「焼きマシュマロ」を用意。みんなで炉を囲み、串に刺したマシュマロの変化を楽しみました。

おなががいっぱいになったところで午後の活動へ。工作室で講師の先生に作り方を習い「バードコール」を作りました。バードコールとは、木の枝とボルトねじ1本で作った鳥の鳴き声に似た音を出す道具のことです。木とボルトねじを擦る音が鳥のさえずりに似ているので、鳥が集まってくるといわれています。やすりで形を整えた木に穴をあけ、そこにボルトねじを差し込んで、絵を描

いて紐をつけたら終了です。試しに外に出て音を鳴らしてみると…鳥は飛んでこず…まだまだ鳥の鳴き声には程遠かったようです…。

最後は全員で集合写真を撮りました。帰りのバスは疲れて寝る人も多かったのですが、けがもなく帰ることができホッとしました。

今回は、感染症対策で少人数、短時間の活動となりましたが、笑顔の多い一日になりました。



センター事業報告

車いすテニス
体験会を行いました

2022年10月23日(日)に車いすテニス体験会を開催しました。今回の体験会は、車いすテニスを支援している日本ガイシ株式会社と名古屋市障害者スポーツセンターが協力して企画したもので、日本ガイシ株式会社が運営をしている名古屋市緑区の「諸の木テニス倶楽部」で開催しました。

当日は、車いすテニス未経験者から初心者まで、7歳から66歳までの老若男女11名が参加。またゲストとして、アテネパラリンピック車いすテニス男子ダブルス金メダリストの齋田選手や日本ガイシ株式会社が支援をしている4名の車いすテニス選手にも参加していただきました。参加者は選手からアドバイスをもらったり、一緒にラリーをしたりしました。車いすテニスをプレーすることや海外などで活躍している選手のプレーを間近で見ることに、屋外のテニスコートでプレーすることなど、初めての経験をたくさんしていただけたのではないかと思います。

天候にも恵まれ、多くのボランティアさんにご協力いただき、無事に体験会を終えることができました。参加者の皆さんは快晴の空の下、車いすテニスを楽しんでいただけたと思います。保護者の方からも「子どもが選手のプレーをキラキラした目で見ていた!」と喜びの言葉を聞くことができました。今後も皆さんに楽しんでいただけるように準備をしていきたいと考えています。



告知 **パラスポーツ
フェスティバル2022**

会場 **イオンモールナゴヤドーム前 1Fイベントスペース**

日時 **2023年2月4日(土)、5日(日) 両日とも10:30~16:30**

内容
(予定)

- ボッチャ体験
- パラスポーツPR動画上映
- アジアパラ競技大会PR
- 競技用義足体験
- VRレーザー体験
- ブラインドサッカー体験
- 車いすバスケットボール体験
- スタンブラリー
- 名古屋市障害者スポーツセンター(社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団)PR

私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



随時
募集中
です!

職場見学
大歓迎



現在募集中

正規職員

看護師、事務・社会福祉職、言語聴覚士

嘱託職員

調理補助

産育休代替：作業療法士、理学療法士

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>

事業団公式HP▶



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式

➡ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地
電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1
御器所ステーションビル3F
電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5
NTT西日本八事ビル1階
電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743